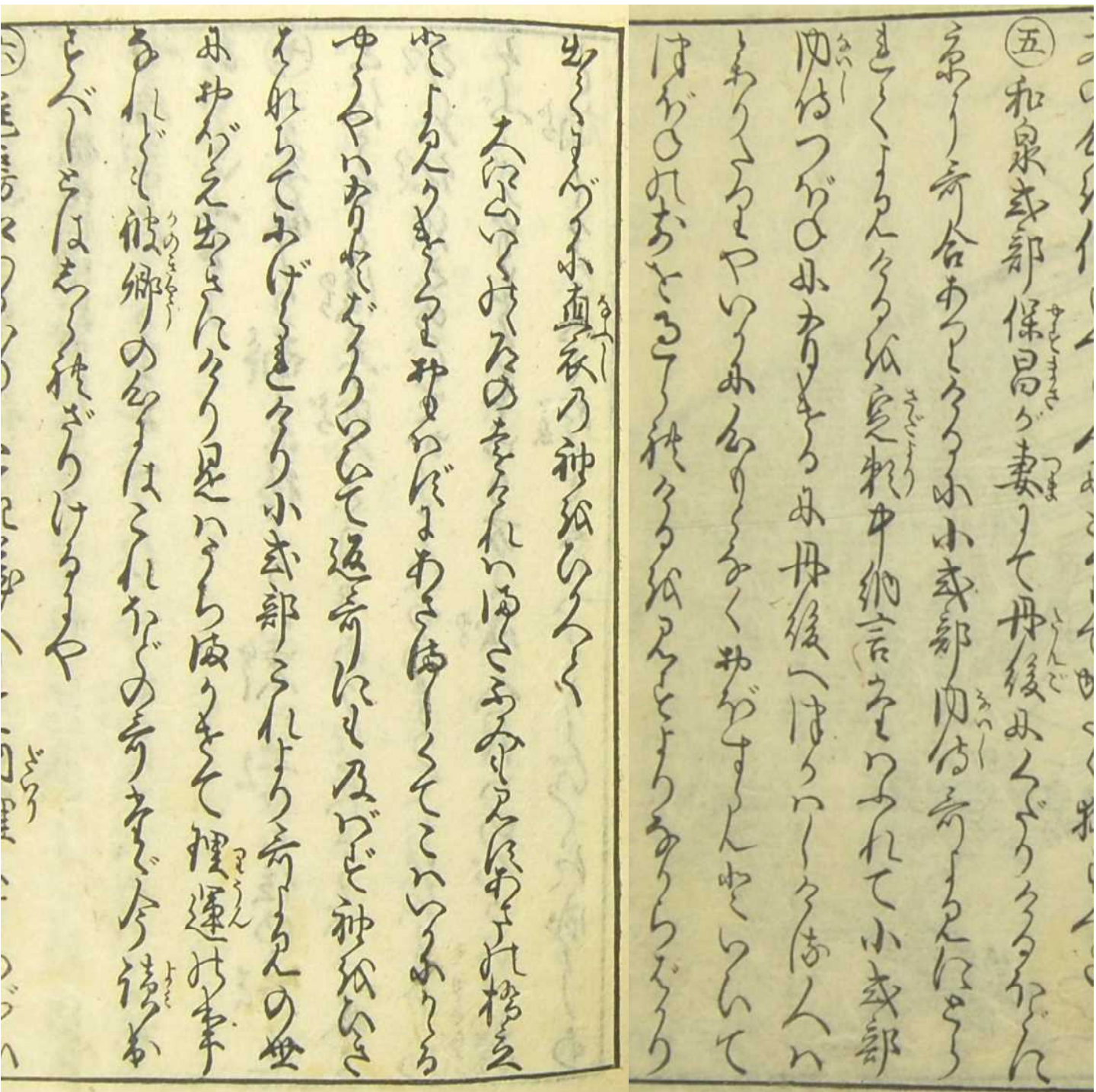


大江山の歌

— 学習プリント —

* 版本「十訓抄」で、「大江山の歌」の章段を読もう。



【準備】本文に出てくる順に、覚えておきたい変体がなと漢字の草書を書き上げた。同音の字が後でも出てくる場合は、最初の字のところにまとめてある。同音の字、形の似た字は、比べながら覚えよう。

大江山

「かにたけ」↑
 か に に に に に
 た た た た た
 け け け け け

「かにたけ」↑
 まず、この2行分だけ覚える。
 そのほかの字は、読みながら、
 このプリントで確かめる。

る る ほ り み れ れ
 日 跡 不 里 見 迹 狹

て を ね 有 つ
 く 残 子 育 津 心 参

心 も な な ら と
 心 子 不 知 心 前

過 す す は わ の の
 過 子 不 知 心 前

袖 道 遠 ま ま 橋 立
 袖 道 遠 ま ま 橋 立

世 是 事 出
 世 是 事 出



【練習】よみを書き、答え合わせをしてから、数回音読する。少し慣れたら、1頁を見て音読する。

五 和泉式部 保昌 妻 丹後

五 和泉式部保昌が妻として丹後みくらをうむ

歌合 小式部 歌

あし合わつとく小式部内付前よるを

定頼 小式部

もくよるを瓜皮中細言をりあれて小式部

「丹後へ

内付つらひぬありもろぬ丹後へはつらひあ人の

「

ありくろよやうぬのさくやがすんやういて

はがひれあささう秋くるぬるとよりあうらるり

直衣

あしあつる直衣の神ぬらう

大空のくはるのききたるはあひとほわすれ橋を

「

あしあつる直衣の神ぬらう

ちかやりのやむぐりついで返寄りと及びど神祇い

小式部

歌

いねらそむげもまぐり小式部これより寄るん

理運

みゆがえおとんぐり是いづら返りそを理運

彼卿

歌

讀

あしごと彼卿のいほこれだの寄るも今後

とぶごはち終ざりけりや

【本番】江戸時代の人と同じような読書をしよう。原本の前に立って読んでみよう。

【自主テスト】よみをひらがなで書こう。8点で一応は合格。

／10点

みきと里を流
 戎がやが

【今後の学習】高校書道の教科書を開くと、よく使う変体なが2頁分くらいにまとめてある。コピーを携帯して、折々に確認する。かな字典をめくりながら、コピーの余白にほかの変体ながを書き取っておく。古い本の展示などで覚えた字にはマルを付ける。難しさを、だんだん感じなくなつてゆくはず。

*古い本を見て、思わず読み始めるようになったら、本格的な本好きの始まり、かもしれない。松本